

ゼロ年代の論点 ウェブ・郊外・カルチャー



[ゼロ年代の論点 ウェブ・郊外・カルチャー_ダウンロード1](#)

著者:円堂 都司昭

出版者:ソフトバンククリエイティブ

出版时间:2011-2-18

装帧:新書

isbn:9784797362145

作者介绍:

目录: 第1章 ゼロ年代批評のインパクト

- ゼロ年代の批評をリードする――東浩紀『動物化するポストモダン』
- コミュニケーションを鍵として――宇野常寛『ゼロ年代の想像力』
- ニコニコ動画は政治をも動かす――濱野智史『アーキテクチャの生態系』
- この国の批評のかたち――佐々木敦『ニッポンの思想』 他

第2章 ネットの力は社会を揺さぶる

- アイロニーと反省からみた状況のねじれ――北田暁大『嗤う日本の「ナショナリズム」』
- 理想と現実、ウェブ2.0と2ちゃんねるのあいだ――梅田望夫『ウェブ進化論』
- 宿命とセカイの外にむかって――鈴木謙介『ウェブ社会の思想』
- 「祭り」のあとでクールに思考する――荻上チキ『ウェブ炎上』 他

第3章 言葉の居場所は紙か、電子か

- 「つぶやき」が情報流通インフラになるとき――津田大介『Twitter社会論』
- 小説と文芸批評の擁護者として――前田畧『紙の本が亡びるとき?』
- オープン化は「本」をも変えるか――佐々木俊尚『電子書籍の衝撃』 他

第4章 データベースで踊る表現の世界

- 「ぼくら語り」にレッドカード――伊藤剛『テヅカ・イズ・デッド』
- オタクの自意識と思春期をめぐって――前島賢『セカイ系とは何か』
- 情報処理の方程式は何を読み解くか――福嶋亮大『神話が考える』 他

第5章 変容するニッポンの風景

- すべては個室になるか――森川嘉一郎『趣都の誕生』
- 「過去」失い流動化する地方――三浦展『ファスト風土化する日本』
- 郊外のデフレカルチャー――速水健朗『ケータイ小説的。』 他

終章 二〇一〇年代にむけて

・ ・ ・ ・ ・ [\(收起\)](#)

[ゼロ年代の論点 ウェブ・郊外・カルチャー_下载链接1](#)

标签

计划购入

宅文化

评论

[ゼロ年代の論点 ウェブ・郊外・カルチャー_ダウンロード1](#)

书评

[ゼロ年代の論点 ウェブ・郊外・カルチャー_ダウンロード1](#)